

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2011年1月1日 ～ 2023年7月31日の間に、下垂体TSH産生腫瘍のために虎の門病院内分泌代謝科に入院・通院し、経鼻的下垂体腫瘍摘出術および甲状腺超音波検査を受けられた方

【研究課題名】

下垂体TSH産生腫瘍における甲状腺腫大に関する研究

【研究の目的・背景】

《目的》

下垂体TSH産生腫瘍の患者さんにおいて、甲状腺が大きい割合を調べること。また、甲状腺の大きさと関連している要素を確認すること。

《研究に至る背景》

現在、下垂体TSH産生腫瘍の診断のために「甲状腺が大きい」ことが必須の条件とされています。しかし、下垂体TSH産生腫瘍の患者さんでも甲状腺が大きい方を私たちは多く経験しています。今後の正確な診断のために、診断基準として「甲状腺が大きい」ことを設定することが本当に必要かを考える必要があります。当院では下垂体TSH産生腫瘍の患者さんを数多く診療しており、豊富なデータがあるため、その検討に役立つと考えられます。

【研究期間】

2024年5月27日 ～ 2025年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院内分泌代謝科医師・辰島啓太のもとにおいて研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は

個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

検査データ、診療記録、画像データ(甲状腺超音波検査)、薬歴、看護記録などの診療情報

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：内分泌代謝科・辰島啓太

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年10月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科 ・ 辰島啓太

電話 03-3588-1111(代表)